

＜聖日礼拝＞ 復活節第4主日

5月3日 10:30～11:30

1 黙 禱

2 賛 美 21-341

3 聖 書 マタイによる福音書 18章 1～9節

(新 P34)

4 説教と祈り 「いちばん偉い者」 有馬尊義

5 賛 美 21-120

6 各々の祈り

7 主の祈り

(家庭礼拝の例です)

※讃美歌は著作権の関係で配信していません。

＜今週の聖句＞ マタイによる福音書 18章 4節

自分を低くして、この子供のようになる人が、天の国でいちばん偉いのだ。

【次週 (5月10日) の礼拝】

聖書：マタイによる福音書 18章 10～14節

説教：「天の父の御心」 有馬尊義牧師

讃美歌：21-341、21-98

西荻教会ホームページ URL

<https://www.nishiogi-g-y.com/nc/>



18章の大きなテーマは「教会」です。イエス様を神の子、救い主と信じる信仰を土台とする教会とはどのようなものを示していきます。

今日の箇所はまず弟子たちの問いかけから始まります。「いったいだれが、天の国で一番偉いのでしょうか。」「天の国」というのは、この地上と別にどこかにある国ということではありません。「神様の支配」を意味しています。神様の御心に従うところ、ということです。神様の御心では、(自分たちの中で)だれが一番偉いのですかと弟子たちは聞いたのです。

そこでイエス様は子供を呼び寄せて、「心を入れ替えて子供のようになる者」、「わたしの名のためにこのような一人の子供を受け入れる者」、「小さな者をつまずかせない者」、「自分自身をつまずかせるものを取り除く者」という4つのことを教えられます。

マタイによる福音書の特徴は、4つのことを結び付けて記していることです。実は、他の福音書ではこれら別々の出来事の中でイエス様が語られた言葉として記されています。それをマタイによる福音書はあえて結び付けて記しました。

まず、「子供のようになる」というのは、子供は純粋で汚れていないから、そのように生きなさいというわけではありません。もともと、弟子たちの「だれが一番偉いのか」という問いかけから始まっていますが、大人と比べて子供はよりはっきりと「一番」を意識します。謙遜な存在ではありません。「誰が一番か」という問いかけは、実は子供の間でこそよくあることです。その意味で弟子たちのしていることは実に子供じみています。それでは、どういう意味で「心を入れ替えて子供のようになれ」とイエス様は言われるのでしょうか。もう一つの、「わたしの名のためにこのような一人の子供を受け入れる者」という教えは、分かりやすいかもしれません。時として我儘で、迷惑をかけることもあるのが子供です。そのような受け入れにくい人を「イエス様の名のために」受け入れるということです。それが神様の御心なのです。

この受け入れることを求めた教えの広がり語るのが、続く「小さな者」という言葉で示される二つの教えです。ここ出てくる、「つまずかせる」、あるいは「つまずく」という言葉は、イエス様を信じる信仰を妨げることを意味しています。

「一人の子供」という言葉を「小さな者」と言い換えています。私たちは教会の一員として、私たちの言動がいたらないために、信仰の仲間をつまずかせないこと、家族や友人をつまずかせないことになってはいけない、と考えます。しかし、つまずきの本当の原因はその人を受け入れていないことがつまずきをもたらすのです。イエス様はつまずきをもたらす者こそ不幸だと言われます。

なぜ、受け入れられないのか。それは自分自身が神様に受け入れられた小さな者であることを信じられないからです。ここで手や足を切って捨てるといわれるのは、罪を犯したら切り捨てるというのではありません。それでは、何本手足があっても足りないでしょう。そうではなく、自分という小さな者が受け入れられていることを妨げる原因があるならば、それを捨てて、神様の懐に飛び込みなさいという教えです。

受け入れないことがつまずきをもたらすならば、逆に相手を受け入れることから信仰は生まれ育ちます。それは私たちの信仰の本質にかかわることです。私たちはイエス様の十字架と復活によって、神様に受け入れられていることを知らされました。罪深く小さな私を、最も大きな神様が受け入れてくださいました。そのことを信じる信仰を教会は土台としています。ここに「心を入れ替える」べきところがあります。最も肝心なことは、私たちが人を受け入れる強さを持つことや、神様にとって有益な者であることを示すことではなくて、何よりも神様に受け入れられているということを信じることです。子どもが親の愛を疑わないように、イエス様の十字架と復活によってあらわされた神様の愛のもとに自分が受け入れられていることを、「当たり前のこと」のように信じ、頼るのです。そのような者を神様はご自分の子として確かに重んじてくださるのです。

日本基督教団 西荻教会

週報

2020年5月3日 第3818号



2020年 年間標語聖句

希望をもって喜び、苦難を耐え忍び、たゆまず祈りなさい。

(ローマの信徒への手紙 12 章 12 節)

【教報】

◆Web会議を用いた礼拝配信

次週よりZoomを用いて日曜日10:30～聖日礼拝のライブ配信を行います。

Zoomの設定の資料を送りますので、ご希望の方は牧師までメールアドレスをお知らせください。

説教動画配信はこれまで通りに続きます。

◆礼拝説教CD

礼拝説教のCDを作成し、お届けします。礼拝後の月曜日以降に郵便で発送します。配信している説教動画をご覧になれない方など、ご希望の方はご遠慮なく牧師までお知らせください。

◆礼拝休止期間の献金について

礼拝休止期間の月定献金、特別献金、席上献金、会堂維持献金等については、下記の銀行口座へお振込みくださるようお願いいたします。また、お振込の際は、教会まで献金内訳をお知らせください。

〔献金振込先口座〕

三菱UFJ銀行 西荻窪支店 (748)

普通 0428737

名義 宗教法人 日本基督教団 西荻教会

【西荻教会連絡先】

電話 03 (3395) 1600

FAX 03 (3395) 1604

役員メーリングリストのメールアドレス

ncyakuin@googlegroups.com

牧師のメールアドレス

taka1970@silver.plala.or.jp

【公 示】

定期教会総会(決算総会)開催のお知らせ

日時/2020年5月24日

但し新型コロナウイルス感染症の感染防止の点から、郵送(ハガキ)による議決権行使とします。

議案/

- (1)2019年度教会活動報告承認の件
- (2)2019年度教会会計決算承認の件
(一般、会堂維持、収益事業等)
- (3)財産管理に関する件
- (4)西東京教区総会議員選出の件

西東京教区の諸教会・伝道所・関係団体のために祈りましょう

祈りのカレンダー

【財務部】

厳しい経済環境下、教区の宣教目標達成に向けて、「いかに有効に財務運営を図るか」、皆さんの希望をうかがいながら、進めていきたいと願っています。

【教会互助委員会】

教区内にある94教会を支えて下さる神さまの御業に感謝しつつ、それぞれの教会が担っておられる課題を少しでも分かち合っていければと願っています。